

## 学校教育経営方針（スクール・プラン）

### ■ 教育方針（大枝三訓）

「自尊自律」・「共生連携」・「協働琢磨」

### ■ 学校教育目標

夢を実現するための「確かな学力」

社会の一員としての「豊かな人間性」

よりよい地域・社会を創造する「つながる力」を育成する。

### ■ 基本理念（学校教育目標を達成するために）

1. 生徒一人一人を徹底的に大切にし、明確な実現目標を持って丁寧な教育活動を進める。
2. 教職員が自らの職責を自覚し、組織としての協働性をさらに高める。
3. 家庭・地域・関係機関等との連携を密にし、確固たる信頼関係を構築する。

### ■ めざす生徒像

- ・自ら課題を見つけ、目標実現に向けて自ら学ぶ生徒。
- ・豊かな人間性を身につけ、自他を大切にすることの出来る生徒。
- ・多様な他者と協働し、よりよい地域や社会を創造する生徒。

### ■ 目指す教職員像

- ・高い使命感と指導力を持ち、情熱を持って職責を果たせる教職員。
- ・豊かな人権感覚を持ち、生徒一人一人の人権を徹底的に大切にできる教職員。
- ・生徒や保護者、地域と連携、協働し、信頼関係を築くことができる教職員。

### ■ 研究主題

カリキュラム・マネジメントの視点をもって、『つながる力』の習得を目指し、  
切磋琢磨できる生徒を育成するために、積極的に授業改善に取り組む

### ■ 指導の重点

1. 人権尊重の精神を基盤に据え、生徒の「豊かな人間性」の育成を図る。
2. カリキュラム・マネジメントの視点の下、確かな学力をつけるため授業改善を図る。
3. 自分の夢の実現に向けて、家庭での自学自習が習慣化できる取組を実践する。
4. 実践的な教職員研修の実現に向けて、若手・中堅実践道場などOJTを推進する。
5. 小中一貫教育を推進し、9年間を見通した地域ぐるみの教育を推進する。
6. 一人一台タブレット端末を活用した効果的な教育を積極的に推進し、GIGAスクール構想の充実を図る。

## ■ 具体的な取組（目標数値）

---

### 1. 人権尊重の精神を基盤に据え、生徒の「豊かな人間性」の育成を図る。

#### ① いじめの根絶を目指し、早期発見、速やかな対応を心掛ける。

- ・ いじめアンケート等の活用し、早期発見、積極的認知を行う いじめゼロ
- ・ いじめを許さない仲間づくりができている 95%超
- ・ 人を大切にしている 95%超

#### ② 自己肯定感を高め、他者と積極的につながる力を養う。

- ・ 自分を大切にしている 90%超
- ・ 仲間の良いところを見つけようとしている 95%超
- ・ 自分には良いところがあると思いますか【学調】 85%超

#### ③ 不登校傾向にある生徒との人間関係の構築に努め、不登校ゼロを目指す。

- ・ 学校に行くことが楽しい 85%超
- ・ 仲の良い友達がいる 95%超

#### ④ 大枝中生であることに「誇り」を持ち、規範意識の確立を目指す。

- ・ 学校行事や学級の取組に積極的に参加している 90%超
- ・ 班の係や委員会の役割を果たしている 95%超
- ・ 学校の約束や決まりを守っている 95%超

### 2. カリキュラム・マネジメントの視点の下、確かな学力をつけるため授業改善を図る。

#### ① 学力分析に関する研修会を実施し、課題の明確化、改善に向けた取組を行う。

- ・ Jプロ・学調・確プロを用いた学力分析及び評価、評定の研修会 年間5回
- ・ 3年次には1年入学時の指数+5ポイント以上を目指す

#### ② 授業研究会を実施し、授業改善に努める。

- ・ 「めあて」「授業の流れ」の明示と「振り返り」の実践を全ての授業で実施
- ・ 授業の様子や授業態度はよい 90%超
- ・ すすんで学習に取り組んでいる 90%超

#### ③ 困りを抱える生徒や学力不振生徒に対する取組を実施する。

- ・ 「学習相談」「未来スタディ」の取組の実施 全学年で実施
- ・ ○○の授業がよくわかる 全教科平均 90%超

### 3. 自分の夢の実現に向けて、家庭での自学自習が習慣化できる取組を実践する。

#### ① 家庭学習の充実に向けての取組を行う。

- ・ 家庭学習の習慣が身についている 70%超
- ・ 読書の習慣が身についている 70%超
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強していますか【学調】 60%超

②「総合的な学習の時間（キャリア教育）」を3年計画で系統的に実施する。

- ・勉強することが将来役に立つと思う 95%超
- ・将来の夢や目標を持っていますか【学調】 80%超
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか【学調】 95%超

4. 実践的な教職員研修の実現に向けて、若手・中堅実践道場などOJTを推進する。

- ①1年間を見通して研修会を計画的に実施する。 年間20回
- ②「道徳教育」について夏季合同研修会で、小中の連携を図る。
- ③若手実践道場(ホープフル研修)を計画的に実施する。 年間14回

5. 小中一貫教育を推進し、9年間を見通した地域ぐるみの教育を推進する。

- ①小中一貫教育の目標の点検と見直しを3校で協働して進める。
- ②構想図・軸となる取組の見直しと「学びのガイドライン」の実践に取り組む。
- ③一人一台タブレット端末を活用したGIGAスクール構想図の連携を図る。
- ④小中合同で行ってきた事業を精選し、より安全で効果的な取組にする。
- ⑤「開かれた学校」を目指し、学校運営協議会でも小中ブロックで活動の連携を図る。